空のビジネス、学生探る

NOBUNAGAキャピタルがイベント

十六フィナンシャルグループ傘下の投資専門会社NOBUNAGAキャピタルビレッジは13日、空のビジネスについて考える学生向けのイベントを岐阜市神田町の本社で開き、大学生や高校生ら20人が「20年後の空」をテーマに創造性あふれるアイデアを発表した。

イベントは、5月13日に美濃市で予定する「空のビジネス」をテーマにしたアイデアピッチコンテストを見据えて、ドローンを活用した事業を手がけるROBOZ（恵那市）と学生団体「EnTOKAI」との共催企画で開催した。

学生はROBOZの石田宏樹社長から「近未来の空ビジネス」について話を聞いた後、それぞれ構想したアイデアを発表した。台風のエネルギーを活用した発電や空を歩くサービスなど斬新なアイデアを披露し合い、成長期待が高まる空ビジネスの可能性を探った。

「20年後の空」をテーマにアイデアを発表する学生＝岐阜市神田町、NOBUNAGAキャピタルビレッジ

無断複製・転載を禁じます